

# 東都文京 だより

2023年10月1日 第35号

発行：医療法人社団大坪会  
東都文京病院広報委員会  
〒113-0034  
東京都文京区湯島3-5-7  
TEL: 03-3831-2181

## ご挨拶 —東都文京病院2023年の秋—



早いもので、10月に入り秋を迎え、過ごしやすい季節になりました。今年の夏は異常な暑さで、秋を迎えホッとされている方も多いのではないのでしょうか。10月は和風月明で神無月と言います。日本全国の八百万（やおよろず）の神々が神議（かみはか）りするため出雲大社に集まる結果、その他の地方に不在になるということで神無月と言い、出雲地方では逆に神在月と呼んでいます。その他の地域では神様が留守になってしまうのかと心配はありません。恵比寿様、金比羅様、道祖神、などはずっと留守番して下さると言われています。また、秋は、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、などと呼ばれています。皆様には色々な意味で秋を謳歌して頂ければと思います。

さて、ウクライナへのロシアの進行は収まる気配はなく、物価高は続き、日常生活に支障が出ております。すべての物が値上がりし、財布の紐を締めても、出て行くのを止められない苦しい状況が続いております。“節約”という言葉を変えて認識するようになりました。また、COVID-19感染症は5月に5類に移行されましたが、収まる気配はなく、1医療機関あたり19.07人を記録しております。確かに重症化する患者様は減少しておりますが、患者数は確実に増加している現状です。7回目のワクチン接種も始まりますが、皆様におかれましては、感染対策を怠らず、お過ごし頂ければと思います。当院としては、引き続きCOVID-19中等症の治療、発熱外来、ワクチン接種等、病院一丸となってCOVID-19感染症治療に立ち向かっていく所存です。診療面では、新たに常勤として、循環器疾患、乳腺疾患専門医が赴任し、今まで以上に皆様のご要望にお応えできるようになりました。御心配な点が御座いましたら、是非ご相談下さい。

当院は二次救急医療機関であり、可能な限り救急医療に貢献して参りました。この事が認められ、9月9日(救急の日)に、東京消防庁より感謝状を頂きました。これを励みに救急医療を始めとする地域医療ネットワークに益々貢献していく所存です。新棟建設計画は、諸般の事情で来年に繰り越されることになりました。大分年季の入った建物になりつつありますが、愛着を持ってご利用頂ければと思います。もし、お気付きの点が御座いましたら、投書箱等を介してお知らせ下さい。皆様方のご要望に応えられる病院運営を心がけて参りますので、今後とも、引き続きご理解、ご支援を宜しくお願い致します。

2023年10月  
東都文京病院院長 窪田 敬一

## 緑内障があると飲めないお薬が沢山！？

・・・一度も眼科受診したことのない人こそ要注意！

「風邪薬」や「睡眠薬」「咳止め」「酔い止め薬」などの市販のお薬を買おうとして、注意書きに「緑内障があると使えない」と書いてあり、飲めなくて困ったことはないでしょうか？また、市販薬に限らず、内科や泌尿器科などでも主治医から処方しようとした薬が飲めるかどうか、眼科医に確認が必要と言われたことがある方もいらっしゃるかと思います。“緑内障”があると使えない薬剤の一覧を表1にまとめました。

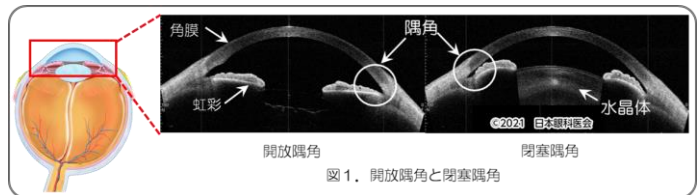
緑内障は、眼圧がその人の目にとって高すぎることで起こりますが、眼圧は目の中で作られる房水の産生量と排出量のバランスによって決まります。房水の排出は、角膜と虹彩の境目にある「隅角」から排出されます（図1）。緑内障の型の中にはこの隅角が広い場合（開放隅角緑内障）と狭い場合（閉塞隅角緑内障）があり、特に閉塞隅角緑内障の場合は、表1の薬物のもつ瞳が開く（散瞳する）作用により、虹彩の根元がより隅角に近づくために房水の排出路が閉塞気味になり、房水が排出されにくくなると眼圧が急激に上がり「急性緑内障発作」といわれる危険な状態になります。市販薬の注意書き等は、この「急性緑内障発作」の状態が起こることを防ぐためのものです。隅角が広い開放隅角緑内障の場合にはこれらの薬物が作用しても房水の流れが滞ることはありませんので、急性緑内障発作は起きません。

↑ **正しいは隅角が狭い**

表1 “緑内障”があると使えない薬剤の一覧

- ・ 睡眠薬、抗不安薬
- ・ 抗パーキンソン薬
- ・ 鎮痛剤
- ・ 総合感冒薬
- ・ 咳止め、気管支拡張剤
- ・ 抗ヒスタミン剤
- ・ めまい薬
- ・ 排尿障害治療薬
- ・ 麻酔前投薬
- ・ 散瞳薬

など



つまり、表1に挙げた薬剤が使えない“緑内障”の人は閉塞隅角緑内障の方に限られます。緑内障と診断されている人は、自分が開放隅角なのか閉塞隅角なのか、主治医に確認しておくといよいでしょう。閉塞隅角の場合でも、眼科で治療を行い、急性緑内障発作が起きない状態になっている場合も多く、眼科で緑内障に関してすでに加療されている方は、基本的にこれらの薬剤の内服に問題のない場合が多くなっています。

むしろ注意すべきなのは、今まで一度も眼科を受診したことのない方々です。若い頃から遠くがよく見えるので困ったことがないという人は、眼科受診するきっかけがありません。このようにメガネがなくても遠くがよく見るとおっしゃる方の中に隅角が狭い方が比較的いらっしゃいます！加齢により隅角は狭くなる傾向にありますので、今まで眼科受診したことのない方はぜひ一度健康チェックも兼ねて眼科受診されることをお勧めします。

眼科 平澤 裕代